

株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日まで

証券コード：1944

企業理念

私たちは 優れた設備とサービスを創造し
社会のインフラを支え 明るく豊かな未来の実現に貢献します

- ・お客様のニーズを把握し、技術力と人間力で安心と安全と快適をお届けします
- ・健全な企業活動を通じて、事業を支える全ての人々の幸せを実現します
- ・従業員が働きがいを実感でき、家族と共に笑顔で暮らせる会社であり続けます

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2025年度通期の状況につきましてご報告申し上げます。

当期における我が国経済は、年度後半には中東情勢の緊迫化による物価上昇の懸念材料が発生したものの、総じて緩やかな回復基調が続き、企業業績も改善の動きがみられました。建設業界におきましても、建設コスト高騰等の影響があるものの、企業の投資意欲の底堅さもあり、建設需要は堅調に推移しました。

このような景況下、当期における当社グループの連結業績につきましては、下表のとおり、完成工事高及びすべての利益につきまして、創業以来最高の実績を確保することができました。旺盛な建設需要、建設コストの価格転嫁の広がり、とりわけ「担い手三法改正」をはじめとする業界全体で「適正工期・適正金額の確保」に向けた動きが進みました。当社グループにおきましても、お客様のご理解はもとより、部門や地域を超えた連携による施工体制を構築することで、お客様、現場に真摯に向き合い対応してきたことが、このような業績に結びついたと考えております。

2021年に策定した中期経営計画「Sustainable Growth 2026 ～人、心、そして未来へ～」につきまして、当社グループの持続的成長・発展に向け、2026年度成長Visionとして「連結7,000億円規模の経営」を掲げ、人と心を経営の根幹に置き、人的資本を軸とした経営を実践してきました。これまでの5年間を振り返りますと、きんでん豊洲ビルの営業開始、新きんでん学園計画をはじめ、人財を軸とした様々な成長投資を進めてきました。事業領域拡大への投資として、株式会社北弘電社のグループイン、蓄電所関連における事業者としての参画に取り組みました。統合報告書の作成をはじめ、社会への情報発信を通じたブランディングも進めてきました。また、経営執行役員制度を導入するなど、ガバナンス改革の推進を図ってまいりました。

資本政策においては、株主還元強化も含め、資本効率の向上に努め、株価・企業価値も大きく高まりました。

業績面では、これまでの様々な取り組みが結実し、成長指標「売上高7,000億円程度・営業利益500億円程度」を2年前倒しで達成することができました。当期の業績も含め、当社グループは7,000億円規模の経営に資する体制へ成長を遂げてきたと考えております。これは会社としての枠組み・あるべき姿を追求してきた、その成果が形として表れてきたものであると考えております。

配当金につきましては、資本政策の考え方及び当期の業績等を勘案して、1株当たり年間130円とさせていただきます。このうち先にお支払いした中間配当金の60円を差し引き、残り70円を期末配当金とさせていただきます。

そのような中で、当社は今期に入り、大きな経営判断といえる2つのコーポレートアクションを行いました。

1つ目は自己株式の公開買付け(TOB)です。当社は以前より関西電力株式会社と当社の資本関係の在り方を協議してきました。その結果、両社がこれからも電力の安全・安定供給に係る使命を共にするパートナーとして既存の協業関係を今後も継続しつつ、より成長を遂げ、双方のステークホルダーとのさらなる価値共創に資する関係性を持つことが最適であるとの共通認識のもと、関西電力グループが保有する当社普通株式の一部を、少数株主保護の観点等を重視し

た公開買付(TOB)により取得することで合意しました。取得した自己株式を消却することにより、関西電力グループの当社株式保有率は約37%から約24%となりますが、今後も関西電力とのパートナーシップを維持しながら、さらなる成長に向けて、人財を軸とした成長投資を行っていきたくと考えております。

2つ目は株式会社弘電社の完全子会社化です。その目的は、今後の労働力不足が見込まれる中、さらなるお客様のニーズにお応えできるよう、事業基盤を強化し、当社グループの持続的な成長・発展に繋げていくことです。現在、株式会社弘電社と、その親会社である三菱電機株式会社と合意のうえ手続きを進めております。

今期は中期経営計画の最終年度となります。これまでの取り組みをより深化させることで、実効性をさらに高めてまいります。そして中期経営計画の目的である「当社グループの持続的な成長と発展」に向けて、現在の事業規模を維持していく、そしてさらに伸ばしていく、そのために必要となる事業基盤の整備・拡充に引き続き注力してまいります。

2026年度の建設市場は、総じて堅調に推移する見通しではありますが、中東問題をはじめとした世界情勢の先行きに強い不透明感があり、原油の供給・価格問題が幅広い分野に影響を及ぼす可能性もあります。

そのような環境変化が見通しにくい状況下においても、これまで整備・拡充してきた事業基盤を基に、お客様に寄り添い、そのニーズにお応えし、レジリエンスの高い、内実ある強い会社を目指してまいります。そして、あらゆるステークホルダーと向き合い、価値を協創していくことで、持続的な成長・発展を目指してまいります。

最後に、私におきましては、このたびの株主総会並びに取締役会をもちまして、社長を退任いたします。2020年の就任以来6年にわたり社長の重責を務めることができましたのは、ひとえに株主の皆様のおかげとご理解とご支援の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。社長在任中は、当社グループの持続的な成長と発展、そして企業価値の向上に向け、様々な取り組みを進めてまいりました。こうした歩みを重ねることができたのも、株主の皆様のご支援があってこそであり、改めて深く感謝申し上げます。

今後は新たな経営体制のもと、引き続き当社グループのさらなる成長と発展、企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これまで賜りましたご厚情に改めて深く感謝申し上げますとともに、今後とも深いご理解をいただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 上坂 隆勇



【連結業績】(2025年4月1日～2026年3月31日)

売上高	7,507億4千2百万円(前期比 6.5%増)
営業利益	902億5千6百万円(前期比48.0%増)
経常利益	944億9千3百万円(前期比46.4%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	694億4千7百万円(前期比47.0%増)

連結決算ハイライト(財務諸表)

[連結損益計算書]

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2024.4.1~2025.3.31)	当連結会計年度 (2025.4.1~2026.3.31)
完成工事高	705,058	750,742
完成工事原価	572,255	573,831
完成工事総利益	132,803	176,911
販売費及び一般管理費	71,823	86,654
営業利益	60,979	90,256
営業外収益	4,673	5,426
営業外費用	1,106	1,189
経常利益	64,546	94,493
特別利益	2,677	6,401
特別損失	652	3,256
税金等調整前当期純利益	66,571	97,638
法人税等	19,445	28,454
当期純利益	47,125	69,183
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△125	△264
親会社株主に帰属する当期純利益	47,250	69,447

[連結貸借対照表]

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2025.3.31)	当連結会計年度 (2026.3.31)
資産の部		
流動資産	503,656	497,748
固定資産	318,037	416,015
資産合計	821,693	913,763
負債の部		
流動負債	202,457	219,129
固定負債	19,497	32,738
負債合計	221,955	251,868
純資産の部		
純資産合計	599,738	661,895
負債純資産合計	821,693	913,763

[連結キャッシュ・フロー計算書]

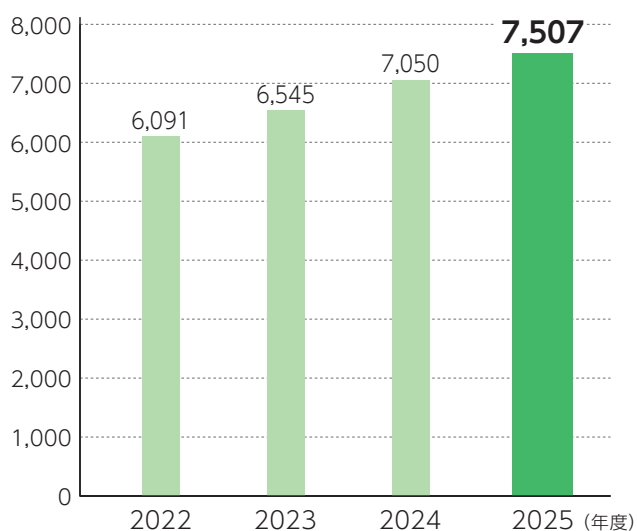
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2024.4.1~2025.3.31)	当連結会計年度 (2025.4.1~2026.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,545	87,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,605	△59,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,976	△30,155

連結決算ハイライト

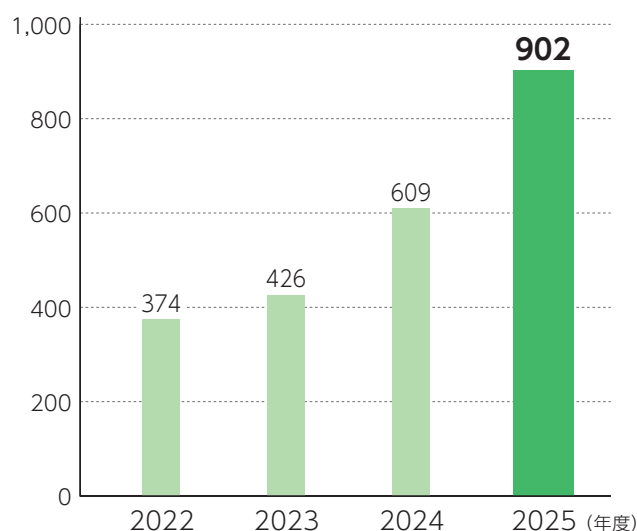
[完成工事高]

(単位:億円)



[営業利益]

(単位:億円)



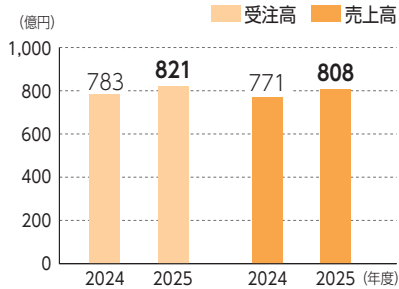
工事種別売上高(個別)

配電工事 構成比 13.2%

関西電力(株)*の配電線工事など

売上高 ↗ **808**億円(前期比4.8%増)

受注高 ↗ **821**億円(前期比4.8%増)



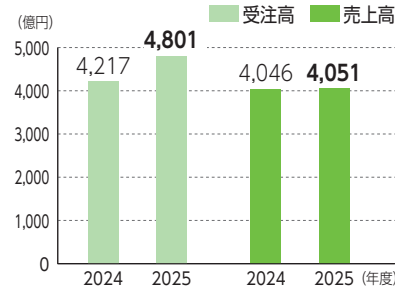
*関西電力送配電(株)を含んでいます。

一般電気工事 構成比 66.1%

事務所ビル、工場などの電気設備工事

売上高 ↗ **4,051**億円(前期比0.1%増)

受注高 ↗ **4,801**億円(前期比13.9%増)

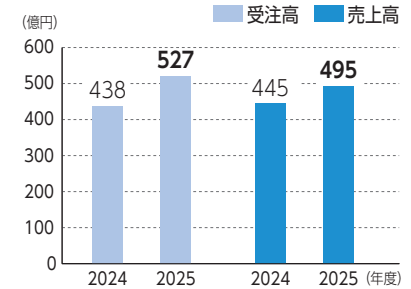


情報通信工事 構成比 8.1%

FTTH、携帯電話、LANなどの通信設備工事

売上高 ↗ **495**億円(前期比11.2%増)

受注高 ↗ **527**億円(前期比20.4%増)

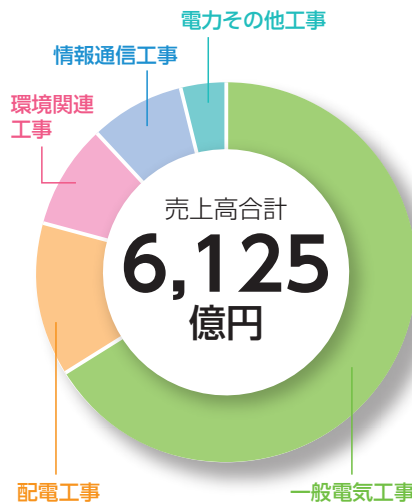
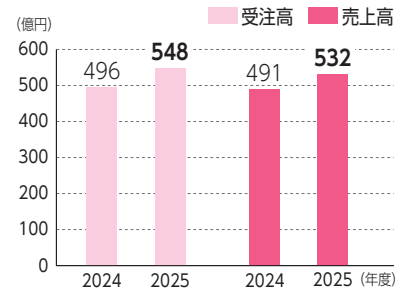


環境関連工事 構成比 8.7%

事務所ビル、工場などの空調・衛生工事

売上高 ↗ **532**億円(前期比8.4%増)

受注高 ↗ **548**億円(前期比10.6%増)

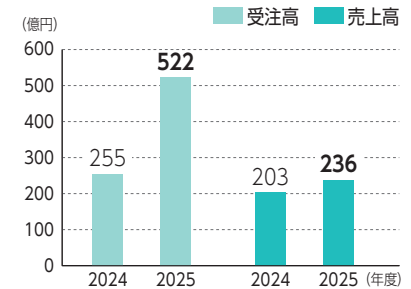


電力その他工事 構成比 3.9%

送電工事、発・変電所工事(再生可能エネルギーを含む)

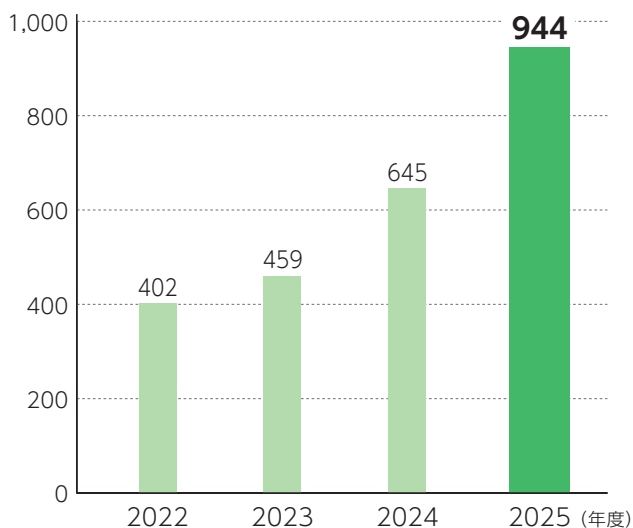
売上高 ↗ **236**億円(前期比16.3%増)

受注高 ↗ **522**億円(前期比104.1%増)



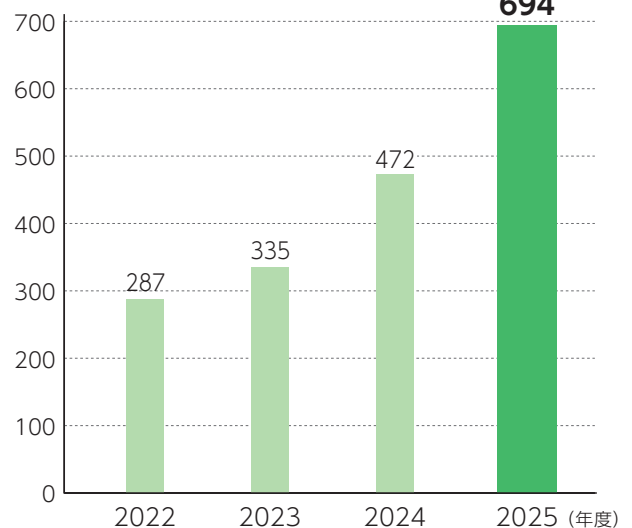
[経常利益]

(単位:億円)



[親会社株主に帰属する当期純利益]

(単位:億円)



主な施工実績



TOFROM YAESU (東京)



淀屋橋ゲートタワー (大阪)



ザ・ランドマーク名古屋栄 (愛知)

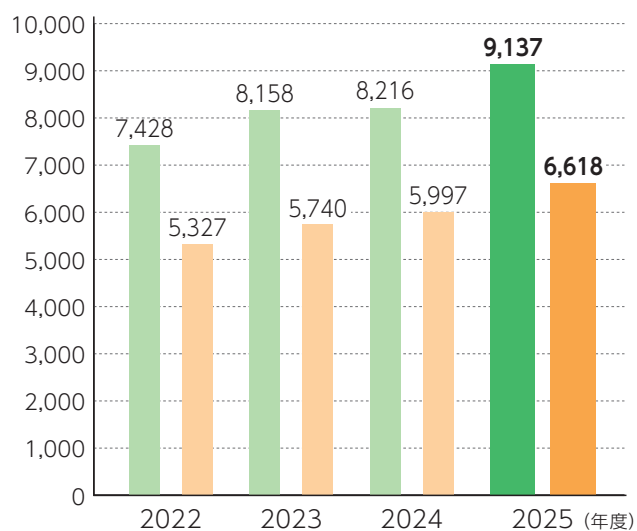


TOYOTA ARENA TOKYO (東京)

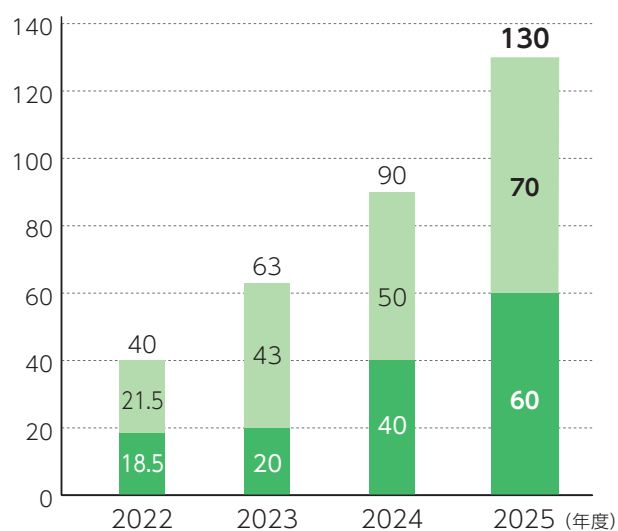


活線振分工具を使用した無停電工事 (兵庫)

[総資産・純資産] 総資産 純資産 (単位:億円)



[1株当たり配当金] 期末配当 中間配当 (単位:円)



2025年
11月

電気設備工事業界 “史上初”の快挙! 技能五輪全国大会で3職種制覇!! 4職種での国際大会出場が決定!!

きんでんグループは、2026年9月に中国・上海で開催される第48回技能五輪国際大会(以下、「国際大会」)の「電気」「ICTネットワーク施工(旧:情報ネットワーク施工)」「配管・暖房(旧:配管)」「再生可能エネルギー」の4つの職種で日本代表として出場が決定しました。国際大会へ4職種の日本代表を送り出すのは、きんでんグループとしてはもちろん、電気設備工事業界としても初の快挙となります。

2025年11月に開催された技能五輪全国大会(以下、「全国大会」)において、当社は電気・ICTネットワーク施工の2職種で金賞を受賞し、国際大会の出場権を獲得しました。加えて再生可能エネルギー職種については、3大会連続での国際大会への出場が確定しています。また当社グループの西原工事株式会社(本社:東京都江東区)についても、全国大会の配管・暖房職種で金賞を受賞し、国際大会へ日本代表としての出場が決定しました。

当社はこれまでの国際大会で「電気」「ICTネットワーク施工」「再生可能エネルギー」職種で合計12個の金メダルを獲得しており、次の国際大会では4職種全てでの優勝を目指し、“オールきんでん”で挑んでまいります。



電気職種で金メダルを獲得した足立龍矢選手(右から5人目)

2025年
12月

新CMが完成!ブランドサイトもリニューアルして同時公開 ～コーポレートスローガン「未来を良くする工事中。」を伝える～

当社は、「きんでんブランドの浸透」・「当社認知度向上」に向けたブランディングをより一層進めるべく、あらゆるステークホルダーの皆さまに当社を正しくご理解いただくため、コーポレートスローガン「未来を良くする工事中。」をコンセプトとした新CM「飛び出す絵本(あらゆるところに)篇」を制作しました。

本CMは2025年12月より全国でオンエアを開始し、併せて当社ホームページ内「きんでんブランドサイト」および「当社YouTube公式チャンネル」でも公開しています。

当社はこれからも、お客さまから支持される「きんでんブランド」の確立を図り、社会のインフラを支える企業として持続的成長と発展を目指していきます。



きんでん
ブランドサイト



公式YouTube

2025年
12月

蓄電所向けO&M事業における新会社 ケイツー・パトン 「株式会社K2-BatOM」を設立

当社は関西電力株式会社(本店:大阪市北区、以下「関西電力」)と共同で、蓄電所向け保守・メンテナンス(以下、「O&M」)事業を推進するための新会社「株式会社K2-BatOM」を設立しました。

蓄電所の導入が進む中、蓄電所を安心・安全かつ効率的に運営していくためには、日々の運転状況の管理や適切なメンテナンスが重要です。

当社は、蓄電所建設工事の豊富な実績・ノウハウ、それに伴うO&Mの実績を保有しています。

関西電力は、蓄電所の運営実績に加え、電池診断と運転状態分析を組み合わせ、蓄電所の事業リスク低減と蓄電池性能を最大限活用する知見・ノウハウを保有しています。

これらの両社の強みを融合した新会社を通じ、より安心・安全かつ効率的なO&Mサービスを提供することで、蓄電所運営の最適化・運営コストの低減を推進してまいります。



〈新会社の概要〉

会社名	株式会社K2-BatOM
所在地	大阪市北区本庄東二丁目3番12号
代表者	代表取締役 西浦 正幸
設立日	2025年12月15日
資本金	1億円
出資会社	株式会社きんでん、関西電力株式会社

会社概要 (2026年3月31日現在)

商号	株式会社 きんでん
英文名	KINDEN CORPORATION
設立年月日	1944年8月26日
資本金	264億1,148万7,018円
従業員数	8,676名
主な事業所	
本店	大阪市北区本庄東2丁目3番41号
東京本社	東京都江東区豊洲2丁目1番5号
支店	中央 京都 神戸 姫路 奈良 和歌山 滋賀
支社	大阪 東京 横浜 東関東 北関東 中部 中国 九州 北海道 東北 四国 電力
営業所	96か所
海外事務所	シンガポール、グアム、ヤンゴン、 サイパン、ドバイ
研修施設	きんでん学園(兵庫県西宮市) 人材開発センター(千葉県印西市)
研究所	技術研究所(東京都江東区) 京都研究所(京都府木津川市)

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	199,954,180株 (うち自己株式数 1,966,478株)
株主数	13,058名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	58,905	29.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,494	10.86
関電不動産開発株式会社	14,507	7.33
きんでん従業員持株会	9,273	4.68
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	6,243	3.15
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,617	1.83
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS - JAPAN ADVANTAGE POOL	2,980	1.51
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 384513	2,121	1.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,852	0.94
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	1,696	0.86

(注) 1.当社は自己株式を1,966,478株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

【ご注意】

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する住所変更、単元未満株式の買取・買増請求などのお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社の全国本支店でお支払いいたします。

役員 (2026年6月24日現在)

■役員体制(取締役・監査役)

代表取締役会長	松村 幹雄
代表取締役副会長	上坂 隆勇
代表取締役社長	吉増 憲二
取締役	伊崎 幸治
取締役	高松 啓二
取締役	相良 和伸
取締役	小久江 晴子
取締役	武藏 扶実
取締役	石原 美幸
取締役	犬塚 力
取締役	山口 智子
常任監査役(常勤)	錦織 和昭
監査役(常勤)	山本 哲也
監査役	吉岡 雅美
監査役	鎌倉 利光
監査役長	勇

■経営執行体制

会長	松村 幹雄
副会長	上坂 隆勇
社長	吉増 憲二
経営執行役員専任	堀切 正則
経営執行役員専任	伊崎 幸治
経営執行役員常務	島田 守
経営執行役員常務	榎本 謙司
経営執行役員常務	垣内 康男
経営執行役員常務	小寺 正憲
経営執行役員常務	鷲田 勇二
経営執行役員常務	小林 広明
経営執行役員常務	米倉 康之

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (公告掲載URL) https://www.kinden.co.jp/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777(通話料無料)
同インターネットウェブサイト	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

特別口座は証券会社の口座とは異なり、株式を売買することはできません。売買等のお取引を希望される株主様は、証券会社に口座を開設いただき、特別口座から証券会社の口座に株式の振替請求をしていただきますようお願いいたします。